

# 海外情報



ノンウーヴンズ・マーケット特約

## ■ファースト・クオリティ・エンタープライズ社 (米国)

### 300万ドルの融資で設備を拡大

ファースト・クオリティ・エンタープライズ社は、ペンシルバニア州から300万ドルの産業振興融資を受けて、ヌーテク・ディスプレイズ社とファースト・クオリティ・ノンウーヴンズ社の設備を拡大した。

ヌーテク社は300万ドルのうちの125万ドルを受け取り、15万4,000平方フィートの建物のうち4万平方フィートを修復し、さらに5万3,000平方フィートの工場を建設する。

ウェット・ドライ・ワイパーメーカーである同社は、医療用市場での需要増に対応し、生産能力を増強するには、工場拡張が必要であった。これにより従業員34名に加え51名を新規雇用する。

一方、ファースト・クオリティ・ノンウーヴンズ社は、175万ドルを受け取り、4万2,000平方フィートの生産工場と10万平方フィートの工場を建設する。これにより、従業員155名に加え70名を新規雇用する予定。なお、融資は金利2.75%の15年返済。

## ■BBA ノンウーヴンズ社 (欧州)

### 伊テクノフィブラ社を買収

英BBA ノンウーヴンズ社は、南アフリカの子会社、コードゥステックス社

の事業の90%を7月に売却し、イタリアのテクノフィブラ社を今年末までに3,180万ユーロで買収する計画である。

テクノフィブラ社の主力事業は、BBA社が欧州では生産していない水流絡合不織布の生産で、併せてニードルパンチ、カード式不織布も生産している。従業員数160名のテクノフィブラ社の02年度収益は4,000万ユーロであった。

BBA社はイタリア工場での水流絡合不織布増産に向けて、新たに15名を雇用し、週7日間24時間体制で第2水流絡合ラインを稼働させる計画である。現在、第1ラインはフル稼働しているが、第2ラインは週5日間稼働中。2ラインを併せたウェットワイパーの生産能力は2万t/年に上る。

また、BBA社はニードルパンチライン、カード式、防音素材用クロスラッパでの増産も計画している。BBA社は南アフリカの子会社を180万ドルでフォルクマール・ガイヤー社に売却した。

この子会社はスパンボンドラインを所有し、2,000t/年の生産能力があった。製品はすべて南アフリカの市場向けで、70%はサニタリー製品用である。

## ■デュボン社 (米国)

### 契約違反でカルディナル社告訴

デュボン社は、大口顧客の一つであるカルディナル社との間で、デュボン社の新工場で生産される医療用素材をカルディナル社が大量購入するとした売買契約を締結していたが、カルディナル社がこの契約に違反したとして、同社を相手取り、米国地方裁判所に提訴した。

デュボン社は、年間売上240億ドルの化学素材メーカーであり、自ら世界最大の医療用不織布メーカーと位置付けているグローバル企業。デュボン社は、カルディナル社がデュボン社製品と同種の製品に関して、BBA ノンウーヴン

ズ社と売買契約を締結したことで、デュボン社の特許権も侵害したと主張している。

デュボン社は、BBA社もまたデュボン社の知的財産権を侵害しているとして提訴する。なお、カルディナル社もBBA社もこの件に関してコメントは発表していない。

デュボン社とカルディナル社は、今回の訴訟以前は、20年以上の間、良好なビジネス関係を築いてきた。カルディナル社は、デュボン社製ソントラの最大購入者であり、医療用ガウン/ドレープ素材のほとんどをデュボン社から購入していた。

98年半ば、デュボン社は、カルディナル社と共同開発した新素材のパイロットラインを建設した。01年、カルディナル社がデュボン社製新素材の大量購入に合意したため、デュボン社は新たに1億2,000万ドルを投じて新素材工場を新設した。

## ■アーヴィング・ファミリー (カナダ)

### カナダ初の紙おむつ工場を建設

アーヴィング・ファミリーは、6,000万カナダドルを投じて、工場敷地15万平方フィートのカナダ初の紙おむつ/トレーニングパンツ工場を建設する。工場には3ラインを設置し、105人を雇用、900万カナダドルの年間賃金を予定している。

新会社名はアーヴィング・パーソナル・ケア社で、6月に商業生産を開始する。当初の年間生産量は300万ケースを計画している。同社は、カナダ・米国市場向けにプライベートレーベルを生産する。

ニュー・ブラウンズウィック州政府の輸出促進サイト、ビジネス・ニュー・ブラウンズウィックのスポークスマンによれば、売上の70%は米国向けで、新工場は大人用の失禁用製品も生産する可能性があるという。州は同社に12年

返済で3,500万カナダドルを融資する。

アーヴィング・パーソナル・ケア社は、カナダで唯一のベビー用紙おむつ/トレーニングパンツメーカーとなる。同社によれば、良質のサニタリー製品の需要は年間を通して大量にあり、同社は、この事業をグループのティッシュ事業戦略の延長線上におき、北米のワンストップ・ショッピングストアなど大手販売業者との関係を強固にしていきたいとしている。

#### ■中国

##### SARS 対策で不織布生産量増加

中国不織布工業会によれば、SARS (重症急性呼吸器症候群) への懸念により、SARS対策として不織布生産量が急増し、生産能力の増強傾向が強まるなど、中国不織布業界は急速に活性化している。

すべてのスパンボンド、メルトブローン、スパンレースメーカーは、昨年末から時間外労働で増産に追われている。ポリ塩化ビニールやポリウレタン製の合成皮革の輸出は減少したものの、合成皮革用ニードルパンチ、スパンレース基布の生産量は悪影響を受けていないという。

同工業会によれば、国内の不織布生産量は少なくとも02年比で4.6%増加している。マスク用やバッテリー・セパレータ用の高品質メルトブローン不織布が不足しており、03年にはメルトブローン不織布生産ラインが数基輸入、新設されると予想している。

それ以外にも新規に、スパンレースライン、スパンメルトライン、スパンボンドラインが増設され、03年末までに中国に新設されるのは、スパンボンドラインが100、スパンレースラインが70を超えるものと見られる。

#### ■プロクター&ギャンブル社 (米国)

##### ウェット TP の販売を中止

プロクター&ギャンブル (P&G) 社

は、ウェットタイプのトイレトペーパー、チャーミン・フレッシュ・メーツ・プレモイステンド・ワイプスを2年間テストした結果、期待値に達しなかったため、これらを販売中止にすると発表した。

P&G社は、同製品開発に投じた費用については口を閉ざしているが、最小限の投資であり、利益に悪影響はないとしている。なお、同社はチャーミン・フレッシュ・メーツ・クロスの販売は継続していく。

P&G社は01年7月、南西部でコアレストタイプ製品の販売を開始し、02年夏にはアリゾナ州でも販売を開始した。ウォルマートを除く初年度の小売店、コンビニ、クラブストアでの販売は240万ドルであった。

一方、キンバリー-クラーク社は、01年初頭からこの分野の製品コットネール・フレッシュ・ロールワイプスを販売を開始した。K-C社によれば、ロールワイプスは100年を超えるトイレトペーパーの歴史の中で初の大改革であり、初年度の販売実績は1億5,000万ドルを記録するとしている。

同社は製品の開発費に1億ドルを費やし、02年半ばまでに530万ドルの売上を計上した。

#### ■ポール・ハルトマン社 (ドイツ)

##### 紙おむつ工場を売却

欧州のプライベートレーベル紙おむつ業界と米国プロクター&ギャンブル社との価格競争激化のあおりを受け、ドイツ第2位の紙おむつメーカー、ポール・ハルトマン社は、自社紙おむつ工場をベルギーの大手サニタリーメーカー、オンテックス社に売却する。

ハルトマン社は年内に従業員数300名の同工場の売却を完了する計画だが、売却額の詳細は不明。なお、この売却にはドイツの連邦規制機関の承認が必要となる。

工場売却を契機に、オンテックス社はフィクシーズブランドの紙おむつとトレーニングパンツをハルトマン社のために独占的に生産し、ハルトマン社が製品の市場販売を続けていく。また、オンテックス社はハルトマン社のプライベートラベルの顧客、DNドラッグチェーンなどに高級紙おむつを供給していく。

売却する工場には、最新のカートGジョア社製設備の加工ラインが10ラインあり、年間生産能力は10億個である。工場は70%の稼働率で操業している。フィクシーズ紙おむつは、ハルトマン社の02年総収益12億2,70万ユーロの10~15%を占める。

#### ■ナショナル・プレスト・インダストリーズ社 (米国)

##### 主力低迷でサニタリー事業拡大

ウィスコンシン州のナショナル・プレスト・インダストリーズ社は、主力製品のフライパン・鉄板など家庭用品の売上低迷を受けて、サニタリー製品の生産を拡大する。

同社は03年10月にジョージア州のNCNハイジエニック・プロダクツ社の資産を買収。NCN社はプライベートレーベルのメーカーで、施設向け大人用失禁製品とペット用トレーニングパッドを生産し、最近の四半期で約1,000万ドルの売上を記録した。

一方、プレスト社は主に家庭用品や小型電気製品事業で知られている。売上の約半分がフライパン、鉄板、グリルといった鋳物製品である。同社のこうした伝統的事業は過去数年横ばいを続けていた。00年、01年、02年の売上は、それぞれ1億1,890万ドル、1億1,120万ドル、1億1,600万ドルであった。

01年11月、プレスト社はRMEDインターナショナル社の紙おむつ生産工場を770万ドルで買収し、RMED社から委託生産を請け負った。それ以来、同社は

サニタリー製品を成長分野と位置付けてきた。

プレスト社は今回の買収により、大人用とペット用紙おむつ市場の大手メーカーとなる。同社のサニタリー製品事業の総利益は売上840万ドルのうち43万1,000ドルであった。

#### ■アルバード・マソート・イツァーク社 (米国)

##### ノースカロライナに加工工場新設

イスラエルのウェットワイパーメーカー、アルバード・マソート・イツァーク社は、04年夏に米国ノースカロライナ州に加工工場を開設する。18万平方フィート、1,500万ドルの設備に、4ラインを設置し、約70人を雇用する。

新工場は独自のソリューション、プラスチック容器を生産する。水流絡合不織布はイスラエルか欧州から輸入しているが、将来的には新工場で素材生産を行う計画である。

新会社の企業名はA・F・G・ワイプス社で、ノースカロライナ州は当地で事業を始めるアルバード社に新事業奨励金を提供する。

A・F・G・ワイプス社は、主に小売用ワイパーをプライベートラベル/ブランド製品の顧客を対象に、販売会社のジオワイプス社を通じて販売していく。アルバード社は、現在ウォールマート・ストリーズ社のホワイト・クラウドブランド製品を生産している。

また、アルバード社は、イスラエルのカード式ケミカルボンドラインのうち一機を水流絡合ラインに改良する計画で、工事は04年第2四半期に完了する。これにより、ラインの生産能力は7,000tとなる。

#### ■メッドライン・インダストリーズ社 (米国)

##### SARS 流行で在庫を 15% 増加

米国最大のヘルスケアサプライ・サービスの製造/販売会社であるメッド

ライン・インダストリーズ社は、今年の冬のSARS（重症急性呼吸器症候群）の流行に備えて、米国、極東向けのガウン、グローブ、フェイスマスク、不織布素材をストックするなど、急ピッチで態勢を整えている。

同社は、極東地域からSARS再流行を暗示する報告を次々に受けており、SARS対策として、製品素材をサウジアラビアのSAAF社、BBAタイ、ポリマーグループのメキシコ工場から購入して、通常より15%在庫を増やす措置をとっている。

3M社は、世界中でSARSの再流行に対する恐れ、懸念が広がっている現状を見て、フェイスマスクの生産量を大幅に増やし、また、微細フィルターN95マスクの生産量を3倍にしたという。

しかし、すべてのサニタリーメーカー、販売会社、不織布メーカーが在庫量や生産量の増加態勢をとっているわけではない。一部の企業は、顧客はすでに準備をしており、わずかな増収しかもたらさないと見ており、クロステック・インターナショナル社は在庫は増やさない方針である。また、ムーア・メディカル社は、今年の春には15~20%マスクの販売量が増えたが、今年の冬は通常の売上であると予測している。

#### ■KNH エンタープライズ社 (台湾)

##### 衛材用の新複合素材を生産開始

台湾のKNHエンタープライズ社(康那香)は、紙おむつとサニタリー・ナプキン用のトップシート、コア、バックシートの複合素材の生産を開始する計画であることを発表した。

“エアレイド”と呼ばれる3層複合素材は、エアレイドのトップシート、吸収性のフラッフコア、ポリエチレンフィルムのバックシートから構成されている。顧客は素材にダイカットを施し加工するだけで済み、個々の素材を購入して組み合わせる工程が省かれる。同

社によれば、新素材により顧客は高価な機械を設置せずに、コストを削減できるとしている。

エアレイドの生産は、既存のバイコンポーネント繊維カード式ラインに増設したフィルム形成ラインで行われる。同社は同設備に3年間で300万ドルを投資した。新素材の生産能力は年間6,000mt、中国、東南アジアを当初の販売ターゲットとする。

同社は今年創業35年を迎え、エアレイド2ライン、メルトブローン1ライン、カレンダーボンディング1ライン、スルーエアカード式3ライン、カード式フィルム1ラインを所有している。

#### ■ポリマー・グループ (米国)

##### 上海近郊にスパンメルト工場建設

ポリマー・グループは、上海近郊に04年半ばに3,000万~4,000万ドルを投じてスパンメルト工場を新設する。新工場には、ライフェンハウザー社製ライコフィル3の4ビーム付き4.2m幅ラインが設置される。

工場は05年半ばの操業開始を予定している。同社第2の中国工場となる新工場の人員は、150~200人となり、ライン操作、営業、管理、リサーチ、倉庫部門を担当する。

新工場は、サニタリー用素材/“スーパーソフト”サニタリー用素材である同社特許SMMS素材“メディソフトRX”を生産する。同社は、南海市南新無紡布工場がすでに高い評価を得ているため、新工場建設に踏み切った。南海工場は現在、素材を米国から輸入している。

南海市工場が保有する、3.2m幅ダブルビームのライコフィル2のSSラインの年間生産能力は6,000t、3.2m幅ライコフィル3のSMSラインの年間生産能力は9,000tである。南海市工場の売上の90%は、日本、韓国、東南アジア、中東、香港、台湾、オーストラリア、アフリカ、欧州など海外への輸出で占められている。